

ワイビーファーム

花粉症緩和に期待

「チシヤトウ」加工品強化

本格的な花粉シーズンを控え、農産物の生産加工や販売を手掛けるワイビーファーム

(藤岡市中栗須、石井功一社長)が自社栽培する野菜「チシヤトウ」を使った加工商品が注目されている。花粉症緩和の効果が期待され、販売に力を入れている。

同社は大森ヘルスケア(岡山市)とライセンス契約を結び、東日本におけるチシヤトウ

の関連商品の製造と販売をしている。

別名「莖レタス」とも呼ばれるチシヤトウは中国で肝機能を改善する野菜として食されてきた。健康効果に着



目した大森ヘルスケアが岡山大学薬部に研究を依頼し、花粉症やアトピー性皮膚炎などに効果があるケルセチン・ルテオリンの配糖体を含んでいることが分

かった。抗アレルギー効果を立証し、2016年に大森ヘルスケアが特許を取得した。ワイビーファームの商品ラインアップは粉状にした「ちしやとうの素」(80g、2500円)、チシヤトウを配合したミルクキャンディ(300円)とチョコレート(380円)。リピーターを中心に人気を集めている。

同社は藤岡市に生産拠点があるポールメーカー、ヨシモトポールの農業部門子会社で地産地消を推進している。花粉症の緩和が期待できるチシヤトウ関連商品

域貢献を理念に設立。耕放棄地6万平方メートルを借り、チシヤトウや桑などを栽培している。石井社長は「生産の拡大で、社会問題とな

っている遊休農地を活用するとともに、障害者や高齢者の雇用を増やしたい」としている。問い合わせは同社(80274・504183)へ。